

第3学年	技術	使用教科書等	東京書籍「新しい技術・家庭 技術分野」	担当教員	中川 隆
------	----	--------	---------------------	------	------

【学習の目標】
 生活や社会で利用されているエネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。年間の発達段階に応じて、技術による問題解決の範囲を生活、学校、地域、社会へと広げ、生徒の技術リテラシー（技術ガバナンス力、技術イノベーション力）を育む。

【授業の進め方や授業のポイントは何か】

- ・技術室での作業時は体操服で行う
- ・本時の目標の確認（作業内容・安全確認）
- ・作業（後片付け及び清掃を含む）には、丁寧に根気強く取り組む。
- ・振り返り（製作評価シートの記入）を活用し振り返りと次時の課題を確認する。
- ・学び合い・助け合いがあれば積極的に参加する。
- ・ノートに製作内容や作業方法、工具等の使用についてまとめる。

【どのように家庭学習を進めればよいか】

- ・宿題等はありませんが、日常生活の中で授業に関わる項目について興味を持ち探求することができるとよい。

【通知表のつけ方】

評価の観点	何で頑張りをみるか
知識・技能	定期テスト 製作物
思考・判断・表現	定期テスト 製作物 授業プリント
主体的に学習に取り組む態度	製作物 製作評価シート 授業ノート

【1年間の授業計画】

学期	学習する内容	ここで付けたい力	使うもの	学期	学習する内容	ここで付けたい力	使うもの
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・材料に適した加工方法 ・作業の手順を考える ・封入樹脂ストラップの製作 ・問題解決の評価、改善、修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の見方・考え方を働かせて問題を発見し、その問題を解決するために課題を設定することができる。 ・構想に基づいて製作の計画を立てることができる。 ・加工に応じた工具や機器について知り、金属とプラスチックの融合製品を製作することができる。 	教科書 ノート	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 「プログラミングと制御 ・計測・制御システム ・問題の発見と課題の設定 ・スクラッチを使用したプログラミングと制御 	<ul style="list-style-type: none"> ・加工に応じた工具や機器について知り、金属とプラスチックの融合製品を製作することができる。 ・安全・適切な製作や検査・修正ができる。 ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法を考える。 ・フローチャートやアクティビティ図などを用いて情報処理の手順を整理させ、計測・制御システムを構想する。 	教科書 ノート
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・封入樹脂ストラップの製作 ・問題解決の評価、改善、修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・加工に応じた工具や機器について知り、金属とプラスチックの融合製品を製作することができる。 ・安全・適切な製作や検査・修正ができる。 ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法を考える。 	教科書 ノート				